

榎原だより

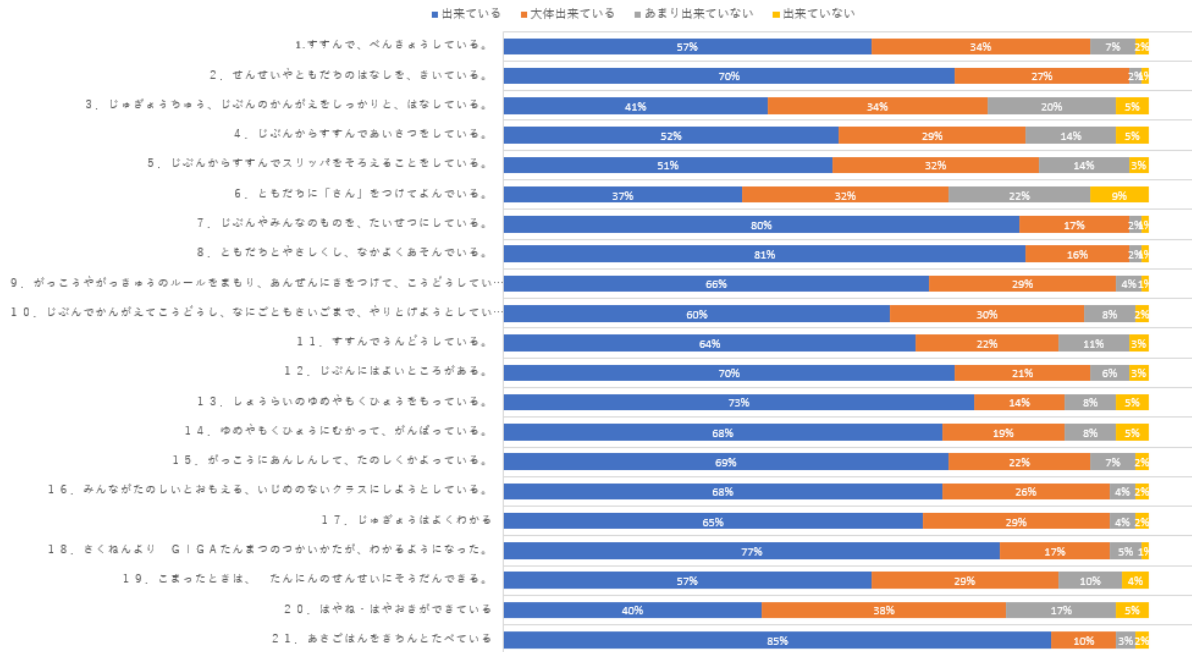
学校評価アンケート 結果・考察号

令和8年2月13日

榎原小学校

校長 田島 永久

第2回児童アンケート



【児童アンケート結果より】

◎

後期においても、17.「授業はよく分かる」2.「先生や友だちの話を聞いている」15.「学校に安心して通っている」と答えた児童が9割前後となっており、安定した学習環境と安心できる学校生活が維持されていることが分かりました。

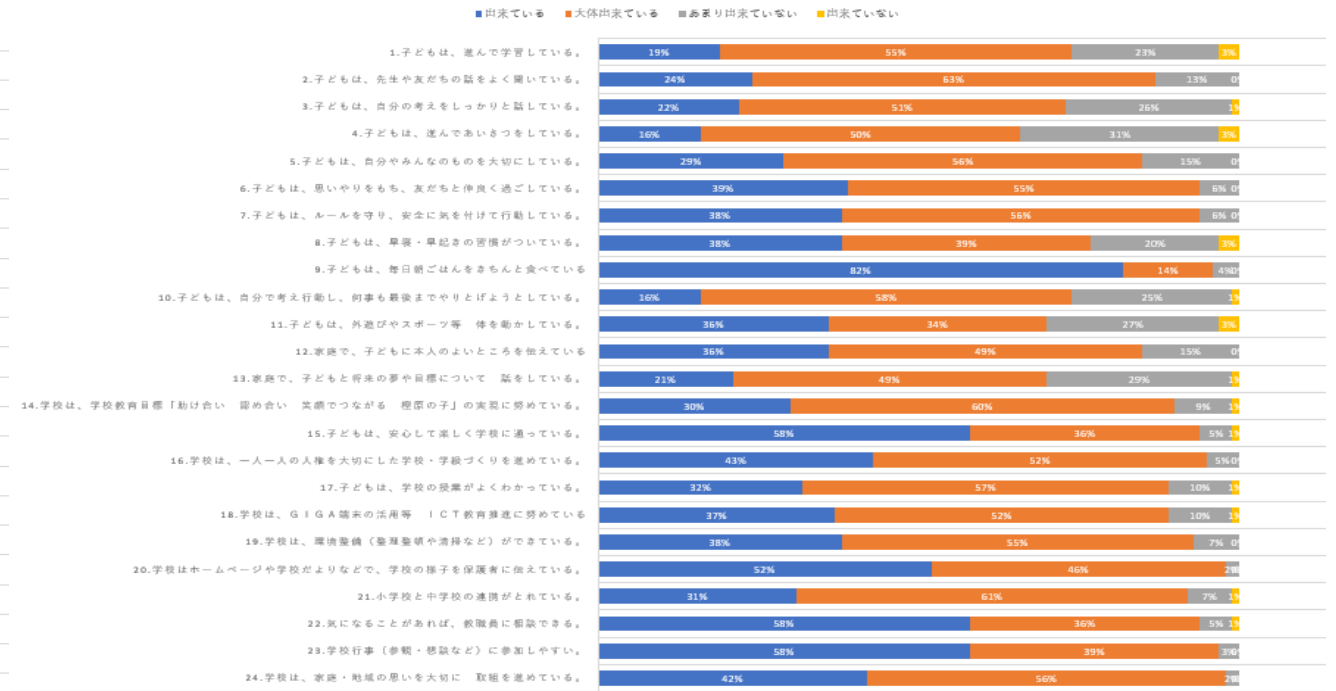
また、8.「友だちにやさしくし、なかよく遊んでいる」16.「いじめのないクラスにしようとしている」といった項目についても、前期と同様に肯定的な回答が多く、児童一人一人が人との関わりを大切にしながら学校生活を送っている様子がうかがえます。

▲

一方で、3.「授業中に自分の考えをしっかりと話している」については、前期に引き続き肯定的な回答が7割程度にとどまっており、自分の考えを表現することに不安や抵抗を感じている児童が少なくない状況が続いています。

また、学年が上がるにつれて、「主体的に取り組むこと」や「最後までやりとげること」に難しさを感じる児童の割合が増える傾向も見られました。

第2回 保護者アンケート 実現度



【保護者アンケート結果より】

◎

15.「子どもは安心して楽しく学校に通っている」6.「思いやりをもち、友だちと仲良く過ごしている」「学校は一人一人の人権を大切にした学校・学級づくりを進めている」といった項目では、後期においても9割以上の保護者が肯定的に回答しており、高い評価を維持していることが分かりました。これは、日々の学級づくりや人権教育、児童同士の温かな関わりが、保護者の方にも伝わっている結果であると考えられます。

また、前期と比較して、23.「学校行事に参加しやすい」20.「学校の様子を保護者に伝えている」といった項目では、肯定的な回答が増加しました。学校だよりやホームページ、行事後の写真や報告などを通して、学校の様子を発信してきたことが、評価の向上につながったと考えられます。

▲

一方で、4.「子どもは進んであいさつをしている」については、前期同様、児童の自己評価と比べて、保護者や教職員の評価が低い傾向が見られました。児童自身はあいさつをしているつもりでも、声の大きさや相手への伝わり方に課題があり、引き続き学校全体での取組が必要であると考えられます。

また、3.「自分の考えをしっかりと話している」10.「自分で考え行動し、最後までやりとげようとしている」といった項目では、前期から大きな改善は見られず、重要度が高い一方で、実現しているという実感が十分でないことがうかがえます。

【今後の対策・取組】

お忙しい中、アンケートにご協力いただきありがとうございました。前期・後期のアンケート結果を通して、本校の強みと今後の課題がより明確になりました。

子どもたちが安心して楽しく過ごせる学校づくりや、友だちとの温かな人間関係については、年間を通して安定しており、本校の大切な財産であると言えます。一方で、「自己表現」「主体性」「あいさつ」については、前期の課題が後期にも引き継がれており、今後の重点的な取組の必要性が改めて確認されました。

今後は、

① 自己表現(話す力) ② 主体性・やり抜く力 ③ あいさつ・人との関わり

の3点を重点として、学校全体で共通理解をしながら継続して取り組んでまいります。また家庭との連携を大切に、「助け合い 認め合い 笑顔でつながる 檜原の子」の育成を引き続き目指していきます。

また、1学期末のアンケート結果を受け、5・6年生が「よりよい学校にするために、自分たちに何ができるか」を考える機会を設けました。一人一人が自分の属している委員会での取組を見直したり、日常の中で低学年への呼びかけを意識したりするなど、主体的に改善策を考える姿が見られました。来年度も、各委員会と連携しながら、高学年の児童が「学校をよりよくしていく担い手」としての意識をもち、自分事として学校づくりに関わっていけるよう支援していきたいと考えています。

生活習慣や読書の時間については、1学期末にも課題として挙がった部分であり、今後ご家庭でのご協力もいただきながら見直しを進める必要性を感じました。生活習慣については、来年度も保健・給食・運動委員会を中心に「健康教育推進プロジェクト」を継続していきます。子どもたちが主体となって取組を進め、全校に呼びかける活動を広げていきたいと考えています。

また、読書については、図書委員会をはじめ、学校司書や図書サポーターの方々と連携し、子どもたちが本の楽しさに触れる機会をさらに増やしていけるよう、引き続き取り組んでまいります。

これらの成果と課題を踏まえ、来年度も子どもたちのよりよい成長のために、学校と家庭が協力しながら教育活動を進めてまいりたいと思っています。今後とも、本校教育へのご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

【自由記述欄より】

・学校行事等の日程連絡が、学習予定表の下部にあります。特に大事な連絡は見落とす可能性がありますので、別途通知いただきたいです。

⇒大切なお知らせについては、確実に保護者の皆様に伝わるよう、今後は別途通知するなど、分かりやすい発信方法を工夫してまいります。

・学習発表会での子どもたちの並び方についてです。やはり、後列にいる子どもはほとんど顔が見えません。人数の多い学校のため難しい部分もありますが、ひな壇を組んだり、列を入れ替えたりなど少し工夫があるとありがたいです。よろしく申し上げます。

⇒これまでも、子どもたちの頑張る姿がよく見えるよう、各学年で工夫を重ねてきましたが、いただいたご意見を踏まえ、今後も並び方や配置について検討し、改善に努めていきたいと思ひます。

・毎回、小中学校の連携が取れているかという質問があるが、高学年になり部活体験、6年には中学校訪問の機会をもらってそういうことなのかと思う位で、それまでは、わからないというのが率直な感想でした。申し送りのことも中学になってみないとわからないと思ひますし。

⇒小中の連携については、教員間での引継ぎや授業交流、児童会の交流等様々な取り組みを行っていますが、保護者の皆様には見えにくかった部分があると感じています。今後は、学校だよりやホームページ等を通して、小中連携の取り組みを分かりやすく発信してまいります。

・端末はなるべく使わず、紙の教科書やノートを使った授業をしていただきたいです。

⇒ICT機器の使用については、必要に応じて効果的に活用し、紙教材と適切に使い分けながら学習を進めています。引き続き、バランスのとれた活用に努めてまいります。

・行事の実施曜日や時間帯について、さまざまなご意見をいただきました。どのご意見も、お子さんの成長を支えたいという思いからのものと受け止め、大変ありがたく感じています。ただ、すべてのご要望にお応えすることは難しく、児童の安全・学校運営の公平性・地域との調整など、複数の観点を踏まえて実施時期や曜日を決めていることをご理解いただければ幸いです。そのうえで、できるだけ多くの保護者の皆様に参加いただけるよう、日程を早めにお知らせすることや、参観しやすい時間帯の工夫など、可能な改善には今後も努めてまいります。お忙しい中とは存じますが、行事が子どもたちの励みになるよう、引き続きご協力をお願いいたします。